

交流ふくい

The Magazine of Fukui International Association



「ジャカルタフードインドネシア」のコマラさん(→詳細は特集をご覧ください)

特集 ... P1,2

外国人店主の美味しいおもてなし

こんにちは国際交流員です! ... P4

ここが変だよ日本人～仕事編～

FUKUIJINー福井人 ... P7

日本の四季が大好きです。

ミゲル・エルネスト・マルティネス・ボソ (キューバ出身)

特別寄稿 ... P10

グローバリズムという怪物

福井県国際交流協会顧問 下谷 政弘

シリーズ特集① ... P3

外国人にとって「災害」とは?

国際交流しよう ... P5,6

日本とインドネシアの農業の在り方を考える
農園たや

FIAからののお知らせ ... P8,9

イベントスケジュール

フィンドレー大学・福井県奨学生帰国報告会 他

海外からのAIRMAIL ... 裏表紙

タイ人からみた日本旅行

橋本 大樹氏 (タイ在住)

Vol. **83**
2016.9

交流ふくいは
ウェブサイトでも
ご覧になれます



公益財団法人 福井県国際交流協会





福井大学近くのインドネシア料理の店内の様子。狭い店内に多い時には20名の客が立って食事をする。

外国人店主の美味しいおもてなし

近年、世界中で日本食ブームが起きていることをみなさんをご存知ですか？日本から遠く離れた世界のあちこちにも日本料理レストランがあります。平成25年12月には、「和食:日本の伝統的な食文化」がユネスコの無形文化遺産に登録され、日本の食文化が世界でも認知されるようになりました。次世代に向けて日本食文化を保護・継承する機運が高まることが期待されます。

その一方で、日本では外国料理のお店が増えています。中華やイタリアンのほかに、東南アジアのエスニック料理、スペインの地中海料理など様々です。料理はもちろん、店内の装飾やBGMにもこだわっており、異国情緒を感じることができ、海外に行かずして異文化に触れることができます。「食」はその国のアイデンティティであり、異文化を理解するうえで欠かせない手段の一つです。外国人の定住化が進み、外国人の方が日本でお店を出すケースも増え、福井にも、本場の味を提供してくれる外国人店主のお店があります。

今回の交流ふくいでは、福井市内のインドネシア料理店と韓国料理店の店主に、福井で外国料理のお店を出したきっかけやこだわりなど熱い想いをうかがってきました。紹介するお店以外にも外国人店主が営む料理店はたくさんありますので、是非探してみてください。

〔出典：農林水産省ウェブサイト〕



インドネシアの伝統行事オンデル・オンデル(※1)の人形



来店中の福井大学留学生

(※1) オンデル・オンデルとは、巨大な人形を使って行うプタウィ族(ジャカルタの先住民)の伝統舞踊もしくはその人形そのもののことで、魔除けや祭事のときに街に登場します。人形は小さいもので1m80cm程度、大きなものだとなんなんと3m程度ありますが、主に木や松葉、竹で作られているために軽く、中に人が入って動かすことができます。一般的に赤い顔の男性と、白い顔の女性のペアで作られ、6月22日のジャカルタ創立記念日や8月17日のインドネシア独立記念日の際には街中で見ることができます。

INDONESIA



留学生たちが集うアットホームなお店 「福井にもハラール料理を広めたい」

店長のKOMALA DEWI(コマラ デビ)さんは、インドネシアで出会った日本人と結婚し、14年前に来日しました。その後6年程工場に勤めていましたが、育児との両立が難しく、自宅で何か仕事ができないかと考えたコマラさんは、在福している東南アジアからの留学生や研修生らに、東京や大阪から取り寄せたインドネシアの食品や調味料を訪問販売して回ったそうです。

元々料理が好きだったこともあり、その後福井で生活している留学生や研修生のためにインドネシア料理のお店を始めたそうです。「外国で生活していると、ホームシックになるんですよ。」と、コマラさんは言います。取材の日にも7名程のマレーシアとインドネシアからの留学生が食事をしていました。お店は、留学生や研修生の溜まり場となっており、近くのカフェで礼拝をした後に食事に立ち寄りの方が多いそうです。お店が忙しいときには、友人がレジ打ちを手伝っていたり、食材をカットしていたりと、とてもアットホームなお店です。最近、首都圏や観光地で見られるハラール(※2)対応のお店について話をすると、福井でもそういうお店が増えたら良いと感じているようで、「今後、インドネシア料理の教室を開いて、ハラール料理を広めたい。」と熱く語ってくれました。お店でも、ハラールに対応したラーメンを考案中とのこと。

おすすめのメニューは、ナシゴレンとナシルダン。「私たちの料理は辛いよ。」と笑いながら、インドネシアのケチャップ(甘いソース)と一緒に出してくれます。辛い物が苦手な方でも、本場ジャカルタのご飯を手軽な価格で食べられます。店内では、インドネシアの食品や調味料の販売も行っています。10月23日(日)に開催される福井国際フェスティバルへ出店予定ですので、お楽しみに！

(※2)ハラールとは、イスラム法において合法なものの事を言います。また、非合法なもののことをハラームと呼びます。
ここでは、イスラム法において合法な食品のことを指します。
[出典:NPO法人 日本ハラール協会ウェブサイト]



コマラさん(中央)



おすすめの特製ナシゴレン

DJAKARTA FOOD INDONESIA

ジャカルタフード インドネシア

福井市文京 3-11-8

福井大学文京キャンパス近く

LUNCH AM11:00-PM3:00

DINNER PM 5:00-PM8:00

定休日 水曜日

Republic of Korea



焼肉屋ではない韓国料理のお店 「死ぬまで福井でお店をやりたい」

店長の강대호(カン・デホ)さんは韓国釜山出身で、20年前に来日し、大阪や東京の焼肉屋で働いていたそうで、その後、知人の紹介で福井に来て働くことになりました。当時はあいさつ程度の日本語しかできず、接客対応に困ったそうです。日本語はお客さんとの会話から勉強したそうで、現在では、店内の黒板に日本語のメニューを書けるようになったと話してくれました。

週末には、人気メニューの水晶プレートで焼くサムギョプサルとジャガイモ鍋を求めて、地元客だけでなく富山や石川からもお客さんが来るそうです。

焼肉店は県内にも多くありますが、韓国の家庭料理を専門にしているお店は少なく、このお店では、焼肉店にあるサイドメニューにこだわっています。20年前まで韓国の焼肉店で働いていたカンさんの作るブルコギやビビンバは、まさに「本場の味」です。

カンさんに福井について聞いてみると、「福井はいいところ、田舎で、人がいい。大阪は(人が)厳しかった。」と、福井の良さを語ってくれました。「死ぬまで福井でお店をやりたい。」とのこと。みなさんも是非韓国の家庭料理をご賞味ください。また、カンさんに韓国料理のことを尋ねてみてください。普段はとてもシャイな店長も、料理の話題になると熱く語ってくれます。



おすすめ石焼きビビンバ



店長の강대호(カン・デホ)さん



「KOREA」の店内

韓国家庭料理 KOREA

福井市中央 1-12-8 高柴ビル1F

LUNCH 11:30-14:00

DINNER 17:00-

定休日 月曜日

電話 0776-28-3889

第1回 外国人にとって「災害」とは？

近年、訪日外国人の急激な増加や外国人の定住化、また留学生や技能実習生等の増加に伴い、地域の多文化共生に対する理解が求められるようになりました。特に、東日本大震災や関東東北豪雨、熊本地震など、ここ数年で大規模な災害が多発していることを受け、災害時の外国人に対する支援について検討することが急務となっています。

外国人の中には母国で地震や水害の被害に遭遇した経験が少なく、また災害知識が乏しいことにより、地震や水害などの自然災害を軽視してしまい、日本で被害に遭う場合があります。平成16年7月に発生した福井豪雨の際も、福井で生活していた外国人から、「水浸しになってしまった家財道具はどうしたらよいか？」などの相談がありました。

外国人は、地震などの災害に対してどのような認識を持っているのでしょうか？今回、福井県国際交流会館に来ていた外国人の方にインタビューを行いました。



マリッカ さん
国籍：フィンランド
来日15年目

Q.母国で災害に遭われた経験はありますか？

A.フィンランドでは、大雨や大雪で困ることはありますが、地震や台風のような大きな災害はほとんど起きません。

Q.福井で災害を経験した感想は？

A.地震で家が揺れたときは、どこに逃げれば良いか分からずパニックでしたが、幸い夫がいたので安心できました。福井豪雨のときは、近くの公民館も水浸しになってしまいました。

Q.現在災害情報はどのように収集していますか？また、どのように収集できると良いですか？

A.近所のスピーカーから流れる緊急放送は日本語ばかりで、いつも娘に通訳してもらっています。訓練のときも、いきなりサイレンが鳴って驚きました。子供が小学校から持ち帰るお便りも日本語で書かれていて、詳しく分からないので、緊急連絡があると不安です。電柱に貼ってある地図は、日本語と英語で近くの避難所が案内されていて助かります。ウェブサイトで災害の情報がすぐに分かると良いです。



浙江省技術研修員の3名
(左から劉さん、牛さん、王さん)
国籍：中国
来日1年目

Q.母国で災害に遭われた経験はありますか？

A.中国では、洪水、台風、山火事、時々地震もあり、大きな被害が出ています。(近年では、2008年に四川大地震が発生し大きな被害を受けました。)

Q.現在災害情報はどのように収集していますか？また、どのように収集できると良いですか？

A.最近ではスマートフォンで情報を収集しています。日本のテレビに出てくる緊急地震速報も、漢字なのである程度理解できます。

Q.母国では避難訓練をしますか？また、中国にも避難所はありますか？

A.避難訓練はしていませんが、避難所はあります。急に地震が起きたら、近くの広場とにかく逃げます。室内ならテーブルの下に隠れます。



海外技術研修員の3名
(左からトミオさん、ムリロさん、さゆりさん)
国籍：ブラジル2名
アルゼンチン1名
来日1年目

Q.母国で災害に遭われた経験はありますか？

A.ないです。南米では地震があまり起きません。小さい頃に長野県に住んでいたときに地震を経験しました。とても怖かったです。(災害=地震というイメージを持っている。)

Q.現在災害情報はどのように収集しますか？また、どのように収集できると良いですか？

A.テレビの情報を見ますが、難しい漢字ばかりで分かりません。「震度3」は、逃げなければいけません。住んでいるアパートのドアに避難経路の情報が貼ってありますが、漢字なので分かりません。日本語以外に英語やふりがながあると助かります。スマートフォンアプリで外国人でも分かりやすいものがあると助かります。

Q.母国では避難訓練をしますか？もし福井で地震に遭遇したら、どうしますか？

A.避難訓練はありません。地震が起きたら逃げます。スマートフォンを使って近くの公園に逃げます。あと、日本語ができる人についていきます。

今回のインタビューから、国や地域によって災害経験や知識、災害に対する備えに違いがあり、また、配信されている情報の多くが日本語のため、それらを十分に理解することが困難であることが分かりました。外国人は、これら「情報」の不足により、災害時には災害弱者となってしまう、高齢者や障がい者と同様に要援護者として位置付けられます。そのため、地域でともに生活している私たちは、外国人の災害に対する認識や防災知識が十分でないという事実をよく理解し、災害時だけでなく平時から顔の見える関係を築くことで、直面する様々な困難を少しでも減らす手助けができます。また、災害時には外国人も支援する側になる場合もあり、災害に備えて常日頃から相互に支え合う関係づくりを目指しましょう。

FM福井のラジオ番組に
国際交流員が出演中です。
■ 毎週水曜日
■ 午前9:30～9:40
ぜひ聴いてください♪

こんにちは

国際交流員です！

テーマ「ここが変だよ日本人～仕事編～」

福井県国際交流会館の情報・相談コーナーには、国際交流活動等に従事する福井県国際交流員が配置されています。会館にお越しの際は、お気軽にお声かけください！今回のテーマは、「ここが変だよ日本人～仕事編～」です。日本に来て驚いたことを紹介します。

今回の一言

『塵も積もれば山となる』

フジイシャオリウ ウーイーシェンシャオリウ

中国語「不積小流，无以成江河。」

英語「Every little bit counts.」

※注意 正しい発音はカタカナで表記しきれないため正確ではありません。

日本で働き始めて三ヶ月が経ち、日本と中国の職場で違う点がいくつもあることに気づきました。

まずは休みの取り方です。中国で「年休を取る」といえば、一日休みを取ることが普通ですが、日本では時間単位で年休を取ります。中国では、仕事が忙しくなれば、半日くらい病院や銀行に行くことを同僚や上司に伝えれば大丈夫で、わざわざ休みを取る必要はありません。代休を取るときも、日本のように時間単位で計算するわけではなく、半日か一日でとることが多いです。先日、初めて代休を取りましたが、15分単位で計算していたので、少し不便に感じました。

さらに、データの保存方法も中国とは違うと思いました。日本では書類などを保存するとき、データで残す以外にも必ず印刷し、ファイルに綴じています。中国では現在「ペーパーレス化」を促進していて、紙を使用せずにデータで保存するだけです。初めて日本に来た時、オフィスが

紙より データで保存

ちん いぜん
陳 依然

中国 浙江省出身
勤務日：火・水曜日



書類に囲まれていることにびっくりしました。日本は、環境に優しい国だけれど、たくさんの紙を使用していて驚きました。しかし、再生紙を使用していたり、書き損じなどの裏紙を利用していたりと環境に配慮していると感じました。

就職するには不可欠な履歴書ですが、アメリカ人の視点でみると日本の履歴書は変わっています。まず、写真を載せ、性別と年齢を書くとは差別の対象になりやすいので、アメリカでは「連絡先以外の個人情報を記入しては絶対にダメ」というのが常識です。しかし日本は、個人情報の

履歴書は自己流

オースティン マクベイン
Austen McBain

アメリカ
インディアナ州出身
勤務日：水・金曜日



取り扱いに厳しいと言われているにも関わらず、連絡先以外の細かい情報まで記入しており、アメリカ人としてはちょっと理解できません。

また、履歴書のフォーマットが決まっているのも変です。アメリカでは、自分でフォーマットを決めてパソコンで作るので、自分の個性とパソコンスキルを見せるチャンスです。しかし、日本の場合は、他の人と同じフォーマットになってしまいます。さらに、日本のある履歴書には経験を書くスペースがほとんどなく、職務経歴書も必要なので、結局二つ書かなければなりません。アメリカでは、一つの履歴書に学歴、職歴、スキルなどを全部書けるので、書きやすく便利です。

もっとも、アメリカでは絶対に手書きをしません。就活はとても忙しく大変であるにも関わらず、日本では同じ履歴書を何度も手書きしなければなりません。私には、とても信じられないです。

農園たや

会社名：農園たや
代表：田谷 満、田谷 徹
所在地：〒910-0107
福井県福井市高屋町32-35
事業内容：多種多様な野菜の生産・販売



農業を通じてつながる 日本とインドネシアの農業の在り方を考える

技能実習制度

みなさんは、日本の技能実習制度をご存じですか？この制度は、企業または組合において発展途上国等の若者を最長3年、雇用契約の下、外国人技能実習生（以下、技能実習生）として受入れ、実務を通じて実践的な技術・知識を学び、帰国後、母国の経済発展に寄与する人材を育成することを目的としている公的な制度です。平成27年12月の調べでは、技能実習生の数が全国でおよそ19万人、うち福井県はおよそ2,800人となっています。

この制度の活用は、単に労働力の増員や人件費削減として考えるのではなく、発展途上国の経済発展を担う人材を育成するという国際協力、国際貢献の一躍を担っているものです。今回は、農業現場において技能実習生を受け入れ、独自の研修プログラムで人材育成を行っている「農園たや」さんを紹介합니다。

【出典：JITCO（公益財団法人国際研修協力機構ウェブサイト）】



苗の植え付けをする
技能実習生と農園スタッフ



技能実習生の勉強風景。
研修プログラムでは、
農園での実習以外にも
座学も行っている。

地元に戻り、
活躍している修了生
（インドネシア）



ごぼうの収穫風景

「農園たや」の楽しい仲間たち

「農園たや」では2008年から技能実習生を受け入れています。独自の研修プログラムを用意し、インドネシアのタンジュンサリ農業高校の卒業生を対象に、卒業後に地元で農業のリーダーとなる人材を育成するのが目的です。

研修プログラムでは、農園での実習以外に、座学や月間レポートの指導、卒業研究指導、また技能実習生のアグリビジネスのプラン作成指導などを行い、修了後に実践で活躍できる人材をこれまで7名輩出してきました。

帰国した修了生たちは、地元コミュニティでの集落長や農業普及員、農家グループ長、農業関連会社の起業、農業企業に就職するなどそれぞれの道で活躍しています。

今年から、修了生が中心となって、農業問題の勉強会を毎月開催し、「農園たや」の園主もインターネット（Skype）を利用して参加しています。一人では実現が難しい、地域の農業の問題を解決するビジネスをみんなで起業するために、勉強会で模索しています。

1997年から2000年までインドネシアに青年海外協力隊員として赴任していました。現地では、地域おこしのプロジェクトに参加し、付加価値の高い野菜や直販を通じた販路開拓等を行いました。2001年より福井農林高校とインドネシアのタンジュンサリ農業高校の友好交流事業に通訳兼アドバイザーとして関わり、現在も両校の交流のお手伝いをしています。

2005年にはインドネシア・ボゴール農科大学大学院にて農村社会学の修士号を取得しました。また2008年より地域の若手農業者や農業に関心のある若者を集めて、勉強会を開催しています。日本とインドネシア双方の農村の現実とあり方について日々考えて行動しています。

これらの活動が認められ、2012年JICA理事長賞、2014年福井市農業奨励賞をいただきました。



園主の
田谷徹さん



JICA理事長賞
受賞時



技能実習生も交じって
みんなでバーベキュー

技能実習生と
農園スタッフの
ミニコンサート



食育・食農体験

「農園たや」では、社会貢献の一環として食育活動、食農活動を積極的に行っています。普段何気なく食卓に上る野菜がどのようにできているのか、その食材を使いどのように美味しく調理できるかなど、収穫体験やバーベキューなどを通して体験していただけます。野菜の話や農業の話をして理解を深めましょう。

「農園たや」では、年間を通じて約50品目の野菜を栽培しています。サラダとして人気のベビーリーフや福井の伝統野菜・吉川ナス、石川の伝統野菜・金時草、福井では栽培が難しいと言われてきたセロリなどの野菜を育てています。県内のスーパーだけでなく、東京などの県外のレストランにも直接販売しています。また、個人宅へ配送する「野菜おまかせ便」も行っています。

注文はこちらのHPから。

▶▶▶ <http://www.nouentaya.com>

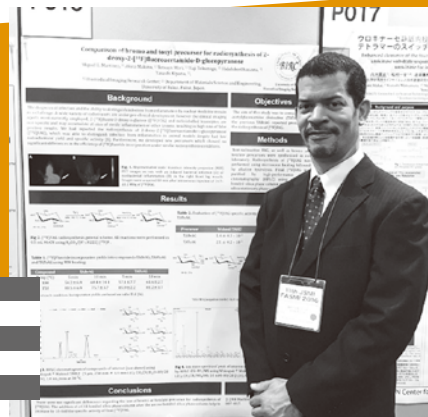
ブログでレシピを共有していますので、ご覧ください。

▶▶▶ <http://tayatoru.blog62.fc2.com/>



FUKUI JIN 福井人

福井に住んでいる外国出身の方にインタビュー。
福井で生活してみて感じたこと驚いたことや、
母国の文化・習慣等を紹介してもらうコーナーです。



今回の FUKUI JIN ミゲル・エルネスト・マルティネス・ポゾ さん

(キューバ出身、福井大学 高エネルギー医学研究センター 研究員、福井県在住歴10年)

ブエナス タルデス Buenas Tardes. (こんにちは)

日本に来て10年、福井で暮らすことになっ
たきっかけは、奥さんに出会ったこと。

Q: 福井で暮らすきっかけを教えてください。

A: 2006年に福井大学に留学生として福井に来て、2007年4月から福井大学医学部に入学しました。4年半福井に留学していました。その後一旦キューバに帰ったけど、また福井に戻ってきました。

Q: 再び、福井に戻ってきたのはどうしてですか？

A: 奥さんですね。(笑)留学していたときに知り合いました。現在は、3人の男の子と奥さんと生活しています。
(家族の話を自慢げに話してくださいました。)



DJ ミゲル



カピトリオ(旧国会議事堂)

福井の四季が大好きです。

Q: 福井の第一印象はどうでしたか？

A: 福井に来る前に知人から「冬は寒くて、カニが美味しいところ」とだけ聞かされていて、たくさん寒さ対策をしてきたんです。でも、その年の冬は暖冬だったからそんなに寒くなかったんです。(笑)

Q: それでもキューバの冬に比べたら寒かったでしょう。

A: はい。キューバは一年中ずっと暑いですよ。私は福井の四季が大好きです。春は桜、夏は海と花火、秋は紅葉、冬はスキー。キューバはずっと植物が緑なんですよ。だから紅葉が見れる秋が一番好きです。

Q: お気に入りの場所はありますか？

A: 永平寺ですね。建物が昔のまま残されているのはすごいです。キューバでは、古いものは博物館にあります。丸岡城にも行きました。

あと、三国の花火も良いです。キューバの花火は15分くらいで終わってしまいます。次は、敦賀花火にも行ってみたいです。

福井に来て驚いたことは、
醤油の種類の多さです。

Q: 福井で生活してみて、驚いたことは何ですか？

A: 留学生のときに、スーパーに買い物に行ったとき、醤油がたくさん並んでいて迷いました。焼肉用とか刺身用とかあったから、スタッフに尋ねました。最初は、「塩」と「砂糖」も間違えて買っていました。

ほかに驚いたことは、街の静かさです。ほんとに福井は静かです。キューバでは、家のベランダからスピーカーを外に向けて、大音量で音楽を流します。街を歩くと、ブォーンブォーンとあっちからもこっちからも音楽が流れてきます。福井は電車やバスの中では静かにしないといけませんが、キューバではバスの運転手がDJになって好みの音楽をかけています。

Q: 日本だとすぐに苦情が来ちゃいますね。他には？

A: あと、あいさつも驚きました。キューバでは、男同士でもハグやキスが当たり前だったけど、福井では握手とお辞儀だけで、寂しい感じがしました。キューバに帰ったとき、「ミゲル冷たくなったね。」と言われてしまいました。(笑)

Q: 男同士のハグかあ…。なんか照れくさいですね。(笑)

まだまだ文化の違いに驚いたことありそうですね。

A: 一番驚いたことは、電車ですね。時間通り電車が動いているのはすごいです。初めて福井に来た時も、電車の中で、乗り過ごしてしまわないか不安で一緒に来日したペルー人とソワソワしていました。隣の席のおばあちゃんが「ほれ見てみ! ○時○○分に必ず着くから、大丈夫!」と、車内の時刻表示を指して言ってくれたけど、不安だったので時差で眠ったけど駅に着くたび駅名を確認していました。福井駅に着くと、○時○○分びったりでした。日本に来て最初で最高の驚きでした。



子どもたちと



助っ人外国人
(本人)



お城が好きな
ミゲルさん

インタビューから

とても気さくな方で、おしゃべりが大好きなミゲルさん。奥さんと3人の子を持つイクメンで愛妻家で、インタビューの日も「早く家に帰らないと…」と、急いで帰られました。家族と過ごすことが最近の楽しみだそうです。

最近では、地区の運動会や秋祭り、忘年会や新年会など近所の集まりも楽しみで、秋祭りには、神輿を担ぐそうです。

平成28年度賛助会員募集中!

福井県国際交流協会では、幅広い県民の参加による全県的な国際交流を推進するため、様々な事業を展開しております。たゞいま、当協会の活動をサポートして下さる賛助会員を募集しております。皆様のご入会を心からお待ちしております!

会費 個人…2,000円 団体…10,000円 期間 申込日～平成29年3月31日

特典 ホテル宿泊・旅行用品・レストランでの割引など

※特典ご利用時には、必ず会員証をご提示ください。電話等での予約の際は、会員である旨お伝えください。
※繁忙期等には、特典の利用が出来ない場合もありますので、ご了承ください。

賛助会員になっていただくとこんな特典があります♪《賛助会員協賛企業のご紹介》

グリーンプラザホテル

賛助会員特典

レストラン天筒
→食後のコーヒー
サービス

2016年3月5日の福井新聞の記事に当ホテルのことが少し掲載されていました。杉原千畝氏の「命のビザ」で話題となっている敦賀市、当ホテルもその歴史の舞台となっていました。ナチスドイツの迫害を逃れ敦賀港に上陸した約6000人のユダヤ人。そのなかに船上で流産し子供を失くしたご夫婦がいたそうです。その夫婦が敦賀市上陸後、小林別館(現在の当ホテル)で産婦人科医の治療を受けたそうです。その当時、産婦人科医で看護師として勤めていた女性のご存命であると、最近話題になりました。

(ホテルスタッフの話から)



〒914-0051
敦賀市本町1丁目1-27 (気比神宮横)
TEL.0770-22-3324

上記以外の企業様にも協賛いただいており、さまざまな賛助会員特典を受けることができます。詳しくは、協会までご連絡ください。



10月～3月のイベントスケジュール

福井県国際交流会館

福井国際フェスティバル2016 ～Trip～

毎年恒例の国際交流・国際協力をテーマにした多彩なイベントです。気軽に異文化に触れて楽しみましょう。

日時：平成28年10月23日(日) 10:00～16:00

場所：福井県国際交流会館

参加費：無料

おちゃっとサロン

お茶を飲みながら、いろいろな国の方と気軽にしゃべりませんか!

日時：日曜日10:00～11:30(月2回程度)

場所：福井県国際交流会館 1階 交流ラウンジ

参加費：無料

※日本語で進行します。

福井県国際交流嶺南センター

Let's speak English～アメリカ編～全5回

アメリカ人講師による英語での文化紹介、グループディスカッション等
※講座は分かりやすい英語で行います。

日時：平成28年10月6日、20日、27日、11月10日、17日いずれも18:00～19:30(木)

場所：福井県国際嶺南センター 2階会議・研修室

参加費：500円/回(1回のみの参加でもOK!)

定員：20名(要申込み)

REINAN国際交流のつどい2016～おおい集まれ!交流の輪～

嶺南で開催される国際交流イベント。ステージパフォーマンス、体験コーナーほか

日時：平成28年10月16日(日) 10:00～15:00

場所：おおい町総合運動公園 体育館 参加費：無料

日本のお正月料理を作ろう!

日時：平成28年11月26日(土) 10:30～12:30

場所：敦賀市西公民館 1階 調理実習室

講師：河村 幸江氏(河村学園 料理講師)

対象：在住外国人の方 参加費：500円 定員：20名(要申込み)

詳細はホームページをご覧ください。

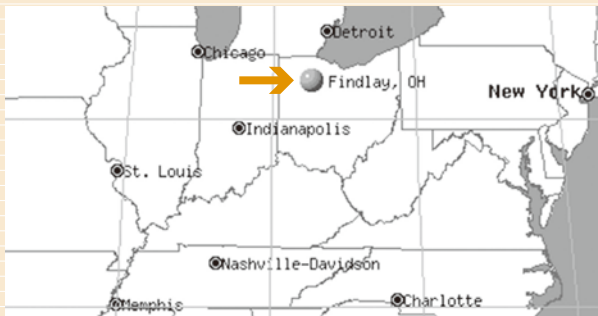
福井県国際交流協会

検索

フィンドレー大学奨学生帰国報告会

アメリカオハイオ州フィンドレー大学に平成27年8月から約9か月間、福井県の奨学生として留学していた小野真彩さんが、平成28年6月28日に福井県副知事への表敬と帰国報告会を行いました。

留学中は、多様な学問を学び、ボランティア活動や施設訪問等の課外活動に積極的に参加し、地域の歴史や文化、地元の人々に触れ、とても刺激を受けた有意義な留学生活となったようです。



帰国報告会の様子



副知事表敬の様子

フィンドレー大学・福井県奨学生制度募集のお知らせ！

戦後に、米国将校として本県を訪れ、県民の復興への努力に心を打たれたフィンドレー大学第16代デボウ・フリード氏のご厚意により、平成17年に県民のための奨学制度を創設されました。

この制度は、第17代フェル学長に引き継がれ、これまでに11名(現在留学中も含めて)の方が奨学生として、フィンドレー大学で学んでいます。

留学先および募集人員

留学先:私立フィンドレー大学 The University of Findlay
集中英語コース、学部、大学院のうちいずれか1名(コースにより応募条件が異なります)

特典および留学期間

平成29年9月の入学から、1学年度分(秋・春学期)の授業料を免除

応募資格

心身ともに健康な方、滞在経費等自己負担分を支払う能力のある方、原則として福井県内在住または県内で高等学校卒業資格を取得された方(平成29年3月卒業見込みを含む)

応募締切

平成28年9月30日(金)必着

応募書類

福井県国際交流会館および福井県国際交流協会のホームページ(<https://www.f-i-a.or.jp/>)で入手できます。

お問い合わせ

福井県国際交流協会 0776-28-8800

JICAデスク



福井県国際協力推進員
荻田 千津さん

国際協力推進員ってなに？

「地域のJICA窓口」として、福井県国際交流協会事務所内のデスクで業務を行っているスタッフのことです。
主に、自治体や地域国際化協会と連携し、県内の国際協力事業の広報および啓発活動を推進しています。

★新しい国際協力推進員を紹介します!★

ムラホ！（こんにちは！）2012年から2年間、青年海外協力隊としてルワンダの聶学校にて図画工作・音楽・体育など情操教育を取り入れる活動をしました。「日本行きたい！」ルワンダの子どもの笑顔が今でも浮かびます！

みなさん、今日のごはんの材料は全て国産でしたか？スマホの部品に使われる金属ってどこから来たのでしょうか？私たちの生活は、途上国含むいろんな国や地域に支えられています。…世界を知りたくなってきませんか？また、ここ福井の技術が途上国支援、国際協力にもつながっていきます。このようなことを知ることも、まず一歩。体験してさらに一歩！私たちにできる国際協力、一緒に考えましょう(*^_^*)
どうぞお気軽にお声かけくださいませ★



JICAボランティア 秋募集受付期間(9/30～11/4)

青年海外協力隊、シニアボランティア等、ご興味ある方！！体験談&説明会へどうぞお越しください(予約不要・参加無料・入退場自由)

●10月6日(木) 18:30-20:30 福井県国際交流会館

●10月23日(日) 13:30-16:00 福井県国際交流会館→福井国際フェスティバルの中で開催！民族衣装体験も有

★詳しくは「JICA北陸」のWEBにてご確認ください★

JICA福井デスク福井県国際交流会館内 Tel:0776-28-8800 Fax:0776-28-8818 E-mail:jicadpd-desk-fukuiken@jica.go.jp

福井県国際交流協会顧問 下谷 政弘

石川県金沢市出身。金沢大学卒業後、京都大学大学院にて修士、博士号を取得。京都大学経済学部教授に就任後、ハーバード大学招へい教授、京都大学大学院経済学研究科長ならびに経済学部長を歴任。その後、福井県立大学経済学部教授として来福、2010年第4代福井県立大学学長に就任。2016年度より福井県国際交流協会の顧問に就任。



グローバリズムという怪物

人は、見知らぬもの、分からないものに対して、まずはステレオタイプ化した上で頭の中を整理する。その方が容易に理解できたような気がするからである。私たちは、見知らぬ遠い他国についても往々にしてステレオタイプ化して理解しようとする。あの国はどうだ、この国はどうだ、などと言い切ってしまう物言いである。

最近の心地よい響きの言葉の一つに「生物多様性」がある。自然界は多種多様な生物が入り組んで、雑多にからまり合って成り立っている。自然界がもつ豊かさのまさしく根源であろう。そのハーモニーが破壊され、いくつもの種が絶滅に瀕しており、「生物多様性」を回復させることの重要性が指摘される。

これと同様に、一つの国はいろんなタイプの人々から成り立つ。しごく当然のことである。いろんな考えの人々が入り組んでからまり合って、そこで日々の生活を営んでいる。固有の歴史や伝統や文化がその国柄を色合い豊かに描き出している。決して一つのカラーに塗りつぶすことなどはできない。つまり、ステレオタイプ化などできるはずもない。

21世紀になって急進展したのはグローバル化の動きであつたらう。かつてK・マルクスは『共産党宣言』(1872年)の冒頭で、「一つの怪物がヨーロッパをうろついている—共産主義の怪物が一」、と述べた。21世紀の今日、うろついているのは「グローバリズムという怪物」であり、世の中のグローバル化の動きは今や経済的にも政治的にも不可避の方向にある。情報技術のめざましい発展がその背景にあり、地球のサイズは急速に小さくなり、市場経済の浸透力は大きくなるばかりである。

グローバル化が進めば国境という線引きは経済的にますます無意味なものとなってくる。資本にとってもと国境などは眼中になく、市場経済はつねに容赦ないグローバル社会を、画一的な「全球」社会を目指してきた。

その半面で、重要なのは、グローバル化はそれぞれの国がもつ歴史や個性を踏み潰してしか前に進まないということである。グローバル化の進展と、国ごとの事情を斟酌する「国際化」とはまったく別物である。グローバル化を推し進めた情報技術の発展は地球を小さくしただけで、コミュニケーションを活発化させ相互理解の手助けとなるはずだったのがそうはしなかった。したがって、圧倒的なグローバリズムの動きに対しての反発もはげしく、世界各地でナショナリズムが台頭しはじめた。グローバル化の進展による画一化はいやおうなく偏狭なナショナリズムに火をつける。いや、今日では、世界各地の紛争は国境(ナショナリズム)すらも超えてしまったテロリズムでおおわれている。

いまや、20世紀的なかつての世界秩序が崩壊しつつある。世界は第一次、第二次大戦の後にそれぞれに工夫して脆弱でこそあれ一つの秩序を築きあげてきた。それがいまや「グローバリズムという怪物」によって危殆に瀕するようになり、先行きが見通せない状況が続いている。誰しも世界のニュースを見るたびに暗然たる気持ちになってしまう。

私たちは、そんな時代だからこそ、自らを戒めて、まわりの国々や遠い国々をステレオタイプ化して見ぬように心がけるべきなのである。

海外でご活躍中の福井県にゆかりのある方からのエアメールをお届けします。

タイ王国



はしもと だい き
橋本 大樹 さん

福井県産業労働部
国際経済課職員
ふくいバンコクビジネス
サポートセンター駐在員

タイ人からみた日本旅行

サワディークラブ! (สวัสดีหรือครับ)

先日、バンコクでTITF(Thai International Travel Fair)という観光のイベントがありました。ここでは観光業者が割安なツアーを直接販売するため、海外旅行を計画している方が多く訪れ、半年先の旅行を購入するなど大変な賑わいでした。実は福井県もこのイベントにブースを出して、福井の観光宣伝を行っており、越前がにや恐竜博物館などに興味を持ってくださる方も多くいらっしゃいました。

訪日外国人の増加はよくテレビなどでも取り上げられていますが、2013年に規制が緩和されて以降、日本への旅行が特に人気を集めています。2012年は約26万人だったタイからの訪日客が、2015年には約80万人と大幅に増えています。タイからの訪日旅行の特徴は、なんともいってリピーターが多いことです。タイから日本へは3~5万バーツ(約9~15万円)のツアーが多く、平均月収が1万バーツ(約3万円)と言われるタイではかなりの高額です。そのため、訪日旅行するタイ人の多くがバンコクに住む富裕層で、その中で日本を気に入った方が繰り返し日本を訪れているようです。今回のイベントに来られていた方の中にも、既に日本に行ったことがある方が多く、中には10回以上という方もいるなど、様々な国を旅行したいと思う日本人の考えとは少し違った思考で旅行をしているようです。

タイ人が繰り返し訪日する理由として、日本は美味しいものが多く、価格や品質面で安心して買い物ができるという魅力があるとのこと。そのため、海外旅行の最大の楽しみである「食事」と「買い物」ができるスポットが集まる大都市は、旅行プランから外せないということでした。訪日するリピーターは増えているが、単に地方県にも観光客が増えているということではないため、福井にも足を伸ばしてもらうことはなかなか難しいことだと感じています。

ただし、タイ人の中には日本食や日本の文化を身近に感じ、タイとは全く異なる気候や風土に対して興味を持つ方が多くいます。今後、タイがより豊かになれば、幅広い層の方々が日本を訪れる機会も増えるでしょう。こういった方々には、東京などの大都市だけでなく、福井のような地方ならではの風景や体験を薦めたいと感じています。今後もタイを初めとした東南アジア諸国で、世界中で他のどこにもない福井ならではの魅力を伝えていこうと考えています。

タイ王国 データ

面積: 51.4万km²(日本の約1.4倍)

人口: 6,796万人(2015年)

首都: バンコク

言語: タイ語、英語

通貨: バーツ

(出典: 外務省ウェブサイト、世界銀行ウェブサイト)

ふくいバンコクビジネス サポートセンターとは

アジアや欧米市場に向けた生産拠点として、また有望な消費市場として東南アジアへの関心が高まっており、県内企業の東南アジアへの事業展開をサポートする拠点としてバンコクにある福井銀行バンコク駐在員事務所を設置されています。



タイの旅行業者へ福井観光の売り込み
(福井県、福井市担当者)



北陸新幹線をテーマにした福井ブースの様子

福井県国際交流会館

【開館時間】 9:00~21:00

情報・相談コーナーの業務時間は
第2月曜日・水・金・土・日曜日
9:00~18:00
火・木曜日 9:00~20:00

【休館日】 国民の休日、12/28~1/4

情報・相談コーナーの休業日は、
月曜日(第2月曜日を除く)、
国民の休日、12/29~1/3

【ラジオ放送】 FM福井76.1 毎週水曜日 9:30~9:40

〒910-0004 福井市宝永3丁目1番1号 TEL(0776)28-8800 FAX(0776)28-8818
http://www.f-i-a.or.jp/ E-mail:info@f-i-a.or.jp



福井県国際交流 嶺南センター

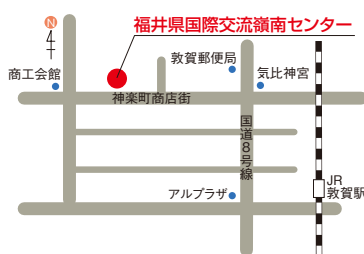
【開館時間】

火・水・金・土曜日 9:30~18:00
木曜日 9:30~20:00
第1・第3日曜日 12:00~18:00

【休所日】

月・日曜日(第1・第3日曜日を除く)、
国民の休日、12/29~1/3

〒914-0063 敦賀市神楽町1丁目4番26号 TEL(0770)21-3455 FAX(0770)21-3441
E-mail:reinan@f-i-a.or.jp



携帯電話によるウェブサイトのご案内 ▶▶▶
日本語 <http://f-i-a.or.jp/k/>
英語 <http://f-i-a.or.jp/k/en/>

